

## 令和5年度 第7回広島市感染症対策協議会

- 【日時】 令和6年3月18日(月) 19:00～20:00  
【場所】 広島市役所 14階第7会議室  
【出席者】 坂口 剛正、石川 暢久、吉岡 宏治、高橋 宏明、佐藤 貴、金子 朋子、  
増田 裕久、梶梅 輝之、岡野 里香、阿部 勝彦

### 1 感染症に関する最近の情報

#### (1) インフルエンザの発生状況について (資料1 P1～8)

令和6年第8週(2月19日～2月25日)の広島市感染症発生動向調査において、定点当たりのインフルエンザ患者報告数が23.14人と例年と比べて依然として高い水準で推移しているが、第10週は定点当たり18.83人と減少傾向に転じている。また、市内学校におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等については、3月12日までに今シーズン累計で796件の報告があった。

基幹定点2か所におけるインフルエンザ迅速診断キット検査では、第10週(3月4日～3月10日)にA型5件、B型112件が検出され、B型の割合は全体の9割以上を占めている。

本市としては、引き続き患者の発生状況を注視し、市民に対し、手洗いや咳エチケットの励行など、感染予防対策を徹底するよう呼びかけていく。

(委員意見)

- ・ 発生動向について、引き続き注視してほしい。

#### (2) 麻しんの国内外での増加に伴う注意喚起について (資料1 P9～34)

令和6年2月26日、国は、麻しんについて、特にヨーロッパ地域を中心に海外における流行が報告されており、今後、海外からの輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念されるため、各自治体に対し、麻しんにおける予防対策の徹底について注意喚起を行った。

また、2月26日に奈良市、3月1日に東大阪市において、海外からの輸入症例を契機とした麻しん患者の発生における報告があり、これらの患者からの二次感染が疑われる事例を中心に全国で麻しん患者の発生が相次いで報告されている。

麻しんを予防するためには2回の予防接種が有効であるため、本市ではホームページやSNS等を通じて、海外渡航する際は、麻しんの予防接種歴を確認し、2回の接種記録がない場合は、渡航前に予防接種を受けることを検討するよう呼びかけた。併せて、帰国後に発しんや発熱等の麻しん様症状を呈した場合は、事前に電話連絡の上、医療機関を受診することについても周知した。

加えて、子ども予防接種週間(令和6年3月1日～7日)に併せて、接種勧奨に関するポスターを作成し、市内医療機関や幼稚園・保育園に掲示するなど、普及啓発を行った。

本市としては、今後の発生動向について注視していくとともに、市民に対し、引き続きホームページ等で感染予防対策の周知徹底を行うこととする。

(委員意見)

- ・ 市民に対して引き続き感染予防策等の啓発を行い、今後の発生動向について注視していく必要がある。

#### (3) 広島市感染症予防計画の策定について (資料1 P35～94)

新型コロナウイルス感染症への対応を契機に、次なる重大な感染症危機に備えるため、令和4年12月に感染症法が改正され、順次施行されることとなった。

改正法では、感染症対策の一層の充実を図るため、国が「感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針」（以下「基本指針」という。）を改正し、基本指針を踏まえて都道府県が予防計画を改定することとなった。

また、感染症発生・まん延時には、地域の実情に応じて保健所設置市においても主体的・機動的に感染症対策に取り組む必要があるため、基本指針や都道府県の予防計画に即した予防計画を新たに策定することになった。

（委員意見）

- ・ 本市の予防計画等に則した感染症対策を実施し、今後どのような感染症が発生したとしても、迅速かつ的確に対応できるよう、関係機関同士が連携し、平時から感染症に関する正しい知識の普及・啓発等を行ってほしい。

## 2 2月の定点把握対象感染症発生状況《公開》（資料2、3）

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

| 区分 | 病名                     | 令和6年2月分   | 令和6年3月分        |
|----|------------------------|---|----------------|
|    |                        | 報告日 2/5 ~3/3  | 報告日 3/4~3/8 現在 |
| 2類 | 結核                     | 8人<br>(結核5人、潜在性結核3人)  |                |
| 3類 | 腸管出血性大腸菌感染症            | 5人(2/8, 2人(2/13), 2/15, 2/22)                               | 1人(3/6)        |
| 4類 | レジオネラ症                 | 1人(2/29)  | 1人(3/7)        |
| 5類 | 急性脳炎                   | 1人(2/22)  | 1人(3/4)        |
|    | ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く) | 1人(3/1)   |                |
|    | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症         | 1人(2/14)  |                |
|    | バンコマイシン耐性腸球菌感染症        | 2人(2/13, 2/27)  |                |
|    | 梅毒                     | 10人(2/8, 2/13, 2/14, 2/15, 2/16, 2/19, 2/21, 2/26, 2人(3/1)) | 2人(2人(3/4))    |

## 3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

( )は届出日

## 4 その他《公開》

次回開催予定日 令和6年4月15日(月) 14階第7会議室

### 【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：2月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症(月報対象)の長期的変動

1 患者情報

(1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、2月は5,957人で、前月比1.07とほぼ横ばいであった。

インフルエンザ、手足口病は増加、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎はほぼ横ばい、流行性角結膜炎はやや減少、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、咽頭結膜熱は減少、水痘は大きく減少した。

(2) 特記事項

- インフルエンザは減少が続いていたが、第10週（3月4日～10日）に定点当たり18.83人と、前週と比べてやや増加した（図1）。市内2か所の協力医療機関における迅速診断キットの検査結果では、第10週はB型が96%（A型5件、B型112件）を占めていた。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も減少が続いていたが、第10週に34件と前週（21件）と比べて増加しており注意が必要である。定点当たり報告数のシーズン累積は、2010/11シーズン以降で最多であった2017/18シーズンの358人を既に上回り482人（第10週現在）が報告されている（図2）。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策が重要である。

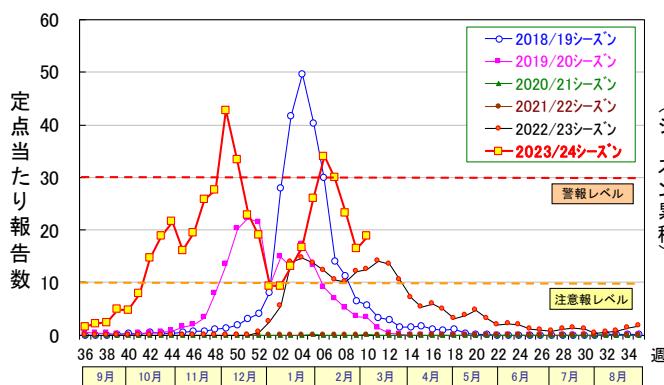


図1 インフルエンザの流行状況（広島市）

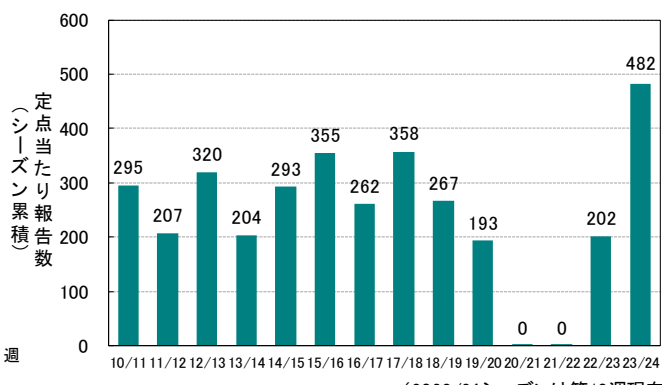


図2 インフルエンザの定点当たり報告数シーズン累積（広島市）  
(2023/24シーズンは第10週現在)

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は減少が続いていたが、第10週に定点当たり3.39人の報告があり前週と比べるとほぼ横ばいであった。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まるため注意が必要である。引き続き、手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策を続けることが重要である。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少が続いていたが、第10週は定点当たり3.52人と前週の約1.3倍に増加しており注意が必要である。手洗いの励行、咳エチケット、患者との濃厚な接触を避けるなどの感染予防対策が重要である。
- 感染性胃腸炎は多い状況が続いており、第10週に定点当たり7.57人の報告があった。1月以降に、高齢者関係施設や医療施設等で感染性胃腸炎の集団発生が8件報告されており、そのうち6件がノロウイルスによるものであった。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底することが重要である。

(3) 2月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核8件（患者：5件、潜在性結核：3件）
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 5件
- 4類感染症：レジオネラ症 1件
- 5類感染症：ウイルス性肝炎 1件、急性脳炎 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、梅毒 10件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2件

(4) 今後の流行予測

インフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎・・・【流行中】

## 2 検査情報

2月の検査結果判明分

| 臨床診断名       | 検出病原体               | 検体採取年月      | 患者数 |
|-------------|---------------------|-------------|-----|
| インフルエンザ     | アデノウイルス 3 型         | 2023 年 10 月 | 1 人 |
|             | インフルエンザウイルス A(H3) 型 | 2023 年 11 月 | 1 人 |
|             | *1 アデノウイルス 3 型      | 2023 年 11 月 | 1 人 |
|             | *1 ヒトメタニューモウイルス     |             |     |
|             | *1 ライノウイルス          |             |     |
|             | B 型インフルエンザウイルス      | 2024 年 1 月  | 1 人 |
| 手足口病        | エンテロウイルス 71 型       | 2024 年 1 月  | 1 人 |
| 突発性発しん      | ヒトヘルペスウイルス 6 型      | 2024 年 1 月  | 1 人 |
| 流行性角結膜炎     | アデノウイルス 3 型         | 2023 年 11 月 | 1 人 |
|             | アデノウイルス 54 型        | 2023 年 11 月 | 1 人 |
|             | アデノウイルス 3 型         | 2023 年 12 月 | 5 人 |
|             | アデノウイルス 54 型        | 2023 年 12 月 | 1 人 |
|             | アデノウイルス 3 型         | 2024 年 1 月  | 2 人 |
| その他の疾患(不明熱) | アデノウイルス 3 型         | 2023 年 12 月 | 1 人 |

\*1：複数病原体検出例

17 人の患者から 8 種類のウイルス 19 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、アデノウイルス 3 型 11 株、アデノウイルス 54 型 2 株、インフルエンザウイルス A(H3) 型、B 型インフルエンザウイルス、エンテロウイルス 71 型、ヒトヘルペスウイルス 6 型、ヒトメタニューモウイルス、ライノウイルス各 1 株であった。

## 3 感染症法の 5 類全数把握薬剤耐性菌感染症患者から分離された菌株解析結果

(2023 年 10 月～2024 年 2 月分)

(1) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) 感染症患者

| 届出年月        | 年齢 | 区   | 菌種                                  | カルバペネマーゼ遺伝子 |
|-------------|----|-----|-------------------------------------|-------------|
| 2023 年 10 月 | 84 | 安佐北 | <i>Klebsiella aerogenes</i>         | 検出せず        |
| 2023 年 11 月 | 59 | 安佐北 | <i>Klebsiella aerogenes</i>         | 検出せず        |
| 2023 年 11 月 | 85 | 安佐北 | <i>Enterobacter cloacae</i> complex | 検出せず        |
| 2023 年 11 月 | 87 | 安佐北 | <i>Enterobacter cloacae</i> complex | 検出せず        |

※検査対象カルバペネマーゼ遺伝子型：KPC, IMP, NDM, VIM, OXA-48, GES, KHM, SMB, IMI

10 月に 1 件、11 月に 3 件の届出があり、分離菌株は、*Klebsiella aerogenes* 及び *Enterobacter cloacae* complex が各 2 株で、いずれの株からもカルバペネマーゼ遺伝子は検出されなかった。

(2) バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) 感染症患者

| 届出年月        | 年齢 | 区   | 菌種                           | 耐性遺伝子       |
|-------------|----|-----|------------------------------|-------------|
| 2023 年 11 月 | 83 | 安佐北 | <i>Enterococcus faecium</i>  | <i>vanA</i> |
| 2023 年 11 月 | 72 | 佐伯  | <i>Enterococcus faecalis</i> | <i>vanA</i> |
| 2023 年 11 月 | 70 | 佐伯  | <i>Enterococcus faecium</i>  | <i>vanA</i> |
| 2023 年 12 月 | 90 | 安佐北 | <i>Enterococcus faecium</i>  | <i>vanA</i> |
| 2024 年 2 月  | 57 | 東   | <i>Enterococcus faecium</i>  | <i>vanA</i> |
| 2024 年 2 月  | 53 | 中   | <i>Enterococcus faecium</i>  | <i>vanA</i> |

11 月に 3 件、12 月に 1 件、2 月に 2 件の届出があり、分離菌株は *vanA* 保有の *Enterococcus faecium* が 5 株、*vanA* 保有の *Enterococcus faecalis* が 1 株であった。

5類感染症定点情報  
(令和6年2月解析分)

1. 週報対象(第6週～第9週)

| No. | 疾患名                    | 発生記号 | 報告数   | 定点当たり  | 今後の予測 | No. | 疾患名            | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり | 今後の予測 |
|-----|------------------------|------|-------|--------|-------|-----|----------------|------|-----|-------|-------|
| 1   | インフルエンザ                |      | 3,662 | 103.49 |       | 11  | ヘルパンギーナ        |      | 2   | 0.09  |       |
| 2   | 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) |      | 923   | 26.14  |       | 12  | 流行性耳下腺炎        |      | -   | -     |       |
| 3   | RSウイルス感染症              |      | 15    | 0.66   |       | 13  | 急性出血性結膜炎       |      | -   | -     |       |
| 4   | 咽頭結膜熱                  |      | 123   | 5.48   |       | 14  | 流行性角結膜炎        |      | 36  | 4.51  |       |
| 5   | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎          |      | 289   | 12.89  |       | 15  | 細菌性髄膜炎         |      | -   | -     |       |
| 6   | 感染性胃腸炎                 |      | 827   | 36.81  |       | 16  | 無菌性髄膜炎         |      | -   | -     |       |
| 7   | 水痘                     |      | 7     | 0.32   |       | 17  | マイコプラズマ肺炎      |      | 1   | 0.14  |       |
| 8   | 手足口病                   |      | 45    | 2.00   |       | 18  | クラミジア肺炎        |      | -   | -     |       |
| 9   | 伝染性紅斑                  |      | -     | -      |       | 19  | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) |      | 2   | 0.28  |       |
| 10  | 突発性発しん                 |      | 14    | 0.62   |       |     |                |      |     |       |       |

2. 月報対象(2月)

| No. | 疾患名               | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり |
|-----|-------------------|------|-----|-------|
| 1   | 性器クラミジア感染症        |      | 31  | 3.88  |
| 2   | 性器ヘルペスウイルス感染症     |      | 9   | 1.13  |
| 3   | 尖圭コンジローマ          |      | 8   | 1.00  |
| 4   | 淋菌感染症             |      | 10  | 1.25  |
| 5   | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 |      | 11  | 1.57  |
| 6   | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症    |      | -   | -     |
| 7   | 薬剤耐性緑膿菌感染症        |      | -   | -     |

発生記号

|                         |  |  |
|-------------------------|--|--|
| 前月と比較しておおむね1:2以上の増減     |  |  |
| 前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減   |  |  |
| 前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減 |  |  |
| ほぼ横ばい(発生件数少数のものを含む)     |  |  |

予測記号

|        |  |
|--------|--|
| 流行始まり  |  |
| 流行中    |  |
| 流行終息傾向 |  |
| 終息     |  |

全数把握感染症報告数(令和6年2月分)

第6週～第9週(2月5日～3月3日)報告分

| 類型                 | 疾患名                         | 広島市 |     | 全国    |       |
|--------------------|-----------------------------|-----|-----|-------|-------|
|                    |                             | 報告数 | 累積  | 報告数   | 累積    |
| 一類                 | 1 エボラ出血熱                    | -   | -   | -     | -     |
|                    | 2 クリミア・コンゴ出血熱               | -   | -   | -     | -     |
|                    | 3 痘そう                       | -   | -   | -     | -     |
|                    | 4 南米出血熱                     | -   | -   | -     | -     |
|                    | 5 ベスト                       | -   | -   | -     | -     |
|                    | 6 マールブルグ病                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 7 ラッサ熱                      | -   | -   | -     | -     |
| 二類                 | 8 急性灰白髄炎                    | -   | -   | -     | -     |
|                    | 9 結核                        | 8   | 13  | 1,112 | 2,189 |
|                    | 10 ジフテリア                    | -   | -   | -     | -     |
|                    | 11 重症急性呼吸器症候群               | -   | -   | -     | -     |
|                    | 12 中東呼吸器症候群                 | -   | -   | -     | -     |
|                    | 13 鳥インフルエンザ(H5N1)           | -   | -   | -     | -     |
| 14 鳥インフルエンザ(H7N9)  | -                           | -   | -   | -     |       |
| 三類                 | 15 コレラ                      | -   | -   | -     | -     |
|                    | 16 細菌性赤痢                    | -   | -   | 4     | 8     |
|                    | 17 腸管出血性大腸菌感染症              | 5   | 6   | 84    | 197   |
|                    | 18 腸チフス                     | -   | -   | 3     | 3     |
|                    | 19 パラチフス                    | -   | -   | -     | 1     |
| 四類                 | 20 E型肝炎                     | -   | -   | 44    | 98    |
|                    | 21 ウエストナイル熱                 | -   | -   | -     | -     |
|                    | 22 A型肝炎                     | -   | -   | 7     | 14    |
|                    | 23 エキノコックス症                 | -   | -   | -     | -     |
|                    | 24 黄熱                       | -   | -   | -     | -     |
|                    | 25 オウム病                     | -   | -   | -     | -     |
|                    | 26 オムスク出血熱                  | -   | -   | -     | -     |
|                    | 27 回帰熱                      | -   | -   | -     | 1     |
|                    | 28 キャサヌル森林病                 | -   | -   | -     | -     |
|                    | 29 Q熱                       | -   | -   | 6     | 6     |
|                    | 30 狂犬病                      | -   | -   | -     | -     |
|                    | 31 コクシジオイデス症                | -   | -   | -     | -     |
|                    | 32 エムボックス                   | -   | -   | 2     | 9     |
|                    | 33 ジカウイルス感染症                | -   | -   | -     | -     |
|                    | 34 重症熱性血小板減少症候群             | -   | -   | 1     | 4     |
|                    | 35 腎症候性出血熱                  | -   | -   | -     | -     |
|                    | 36 西部ウマ脳炎                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 37 ダニ媒介脳炎                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 38 炭疽                       | -   | -   | -     | -     |
|                    | 39 チクングニア熱                  | -   | -   | -     | -     |
|                    | 40 つつが虫病                    | -   | -   | 5     | 53    |
|                    | 41 デング熱                     | -   | -   | 7     | 23    |
|                    | 42 東部ウマ脳炎                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) | -   | -   | -     | -     |
|                    | 44 ニバウイルス感染症                | -   | -   | -     | -     |
|                    | 45 日本紅斑熱                    | -   | -   | 1     | 3     |
|                    | 46 日本脳炎                     | -   | -   | -     | 1     |
|                    | 47 ハンタウイルス肺症候群              | -   | -   | -     | -     |
|                    | 48 Bウイルス病                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 49 鼻疽                       | -   | -   | -     | -     |
|                    | 50 ブルセラ症                    | -   | -   | -     | -     |
|                    | 51 ベネズエラウマ脳炎                | -   | -   | -     | -     |
|                    | 52 ヘンドラウイルス感染症              | -   | -   | -     | -     |
|                    | 53 発しんチフス                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 54 ポツリヌス症                   | -   | -   | -     | -     |
|                    | 55 マラリア                     | -   | -   | 1     | 4     |
|                    | 56 野兎病                      | -   | -   | -     | -     |
| 57 ライム病            | -                           | -   | -   | -     |       |
| 58 リッサウイルス感染症      | -                           | -   | -   | -     |       |
| 59 リフトバレー熱         | -                           | -   | -   | -     |       |
| 60 類鼻疽             | -                           | -   | -   | -     |       |
| 61 レジオネラ症          | 1                           | 3   | 124 | 284   |       |
| 62 レプトスピラ症         | -                           | -   | 1   | 1     |       |
| 63 ロッキーマウンテン紅斑熱    | -                           | -   | -   | -     |       |
| 五類                 | 64 アメーバ赤痢                   | -   | -   | 47    | 81    |
|                    | 65 ウイルス性肝炎                  | 1   | 1   | 10    | 22    |
|                    | 66 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症       | -   | -   | 144   | 298   |
|                    | 67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)      | -   | -   | 2     | 5     |
|                    | 68 急性脳炎                     | 1   | 3   | 70    | 128   |
|                    | 69 クリプトスポリジウム症              | -   | -   | 1     | 2     |
|                    | 70 クロイツフェルト・ヤコブ病            | -   | 1   | 19    | 32    |
|                    | 71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症           | 1   | 5   | 183   | 422   |
|                    | 72 後天性免疫不全症候群               | -   | -   | 83    | 168   |
|                    | 73 ジアルジア症                   | -   | -   | 3     | 5     |
|                    | 74 侵襲性インフルエンザ菌感染症           | -   | -   | 39    | 117   |
|                    | 75 侵襲性髄膜炎菌感染症               | -   | -   | 3     | 8     |
|                    | 76 侵襲性肺炎球菌感染症               | -   | 3   | 179   | 496   |
|                    | 77 水痘(入院例に限る。)              | -   | -   | 33    | 65    |
|                    | 78 先天性風しん症候群                | -   | -   | -     | -     |
|                    | 79 梅毒                       | 10  | 19  | 995   | 1,999 |
|                    | 80 播種性クリプトコックス症             | -   | 1   | 16    | 29    |
|                    | 81 破傷風                      | -   | -   | 7     | 12    |
|                    | 82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症      | -   | -   | -     | -     |
|                    | 83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症          | 2   | 2   | 11    | 22    |
|                    | 84 百日咳                      | -   | -   | 48    | 94    |
| 85 風しん             | -                           | -   | -   | -     |       |
| 86 麻しん             | -                           | -   | 2   | 2     |       |
| 87 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | -                           | -   | -   | -     |       |